



2020年5月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年7月14日
上場取引所 東

上場会社名 カネコ種苗株式会社
 コード番号 1376 URL <http://www.kanekoseeds.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 金子 昌彦
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理部門、コンプ (氏名) 長谷 浩克 TEL 027-251-1619
 定時株主総会開催予定日 2020年8月27日 配当支払開始予定日 2020年8月28日
 有価証券報告書提出予定日 2020年8月28日
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年5月期の連結業績（2019年6月1日～2020年5月31日）

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年5月期	58,179	△0.7	1,487	△16.7	1,613	△15.0	1,122	△12.6
2019年5月期	58,592	△0.9	1,785	2.2	1,899	0.4	1,284	31.2

(注) 包括利益 2020年5月期 1,216百万円 (1.2%) 2019年5月期 1,202百万円 (△10.5%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年5月期	95.95	—	5.6	3.5	2.6
2019年5月期	109.39	—	6.7	4.2	3.0

(参考) 持分法投資損益 2020年5月期 ー百万円 2019年5月期 ー百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年5月期	46,792	20,401	43.6	1,748.70
2019年5月期	45,526	19,619	43.1	1,671.22

(参考) 自己資本 2020年5月期 20,401百万円 2019年5月期 19,618百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年5月期	589	△264	△488	4,411
2019年5月期	892	△869	△362	4,573

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年5月期	—	11.00	—	17.00	28.00	328	25.6	1.7
2020年5月期	—	11.00	—	17.00	28.00	328	29.2	1.6
2021年5月期(予想)	—	11.00	—	17.00	28.00		28.4	

3. 2021年5月期の連結業績予想（2020年6月1日～2021年5月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	—	—	—	—	—	—	—	—	—
通期	59,500	2.3	1,550	4.2	1,650	2.3	1,150	2.5	98.57

※ 注記事項

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
 新規 ー社 (社名) 、除外 ー社 (社名)
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
 - ② ①以外の会計方針の変更：無
 - ③ 会計上の見積りの変更：無
 - ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年5月期	11,772,626株	2019年5月期	11,772,626株
② 期末自己株式数	2020年5月期	106,041株	2019年5月期	33,327株
③ 期中平均株式数	2020年5月期	11,698,661株	2019年5月期	11,739,613株

(注) 期末自己株式数は、「株式給付信託 (BBT)」が保有する当社株式（2020年5月期 72,400株、2019年5月期 一株）が含まれております。また、「株式給付信託 (BBT)」が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。（2020年5月期 40,500株、2019年5月期 一株）。

(参考) 個別業績の概要
 2020年5月期の個別業績（2019年6月1日～2020年5月31日）

(1) 個別経営成績 (％表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2020年5月期	57,762	△0.6	1,459	△14.9	1,584	△15.3	1,107	△13.4
2019年5月期	58,126	△0.9	1,713	1.5	1,871	0.1	1,277	27.7

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2020年5月期	94.63	—
2019年5月期	108.84	—

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	％	百万円	％	％	円 銭		
2020年5月期	46,509	43.4	20,205	43.1		1,731.94		
2019年5月期	45,251	43.1	19,486			1,659.90		

(参考) 自己資本 2020年5月期 20,205百万円 2019年5月期 19,486百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 4「1. 経営成績等の概況 (4) 今後の見通し」をご覧ください。

(決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法)

決算補足説明資料は2020年7月17日（金）に当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(追加情報)	12
(セグメント情報)	13
(1株当たり情報)	15
(重要な後発事象)	15
4. その他	15

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度（2019年6月1日～2020年5月31日）におけるわが国経済は、年度前半は、米中貿易摩擦や英国の合意なきEU離脱リスク、新興国経済の減速懸念などの不安要素があったものの、雇用・所得環境の改善や企業業績が好調に推移するなど緩やかな回復基調となりました。しかしながら、年度後半は、消費税率引上げ後の消費者マインドの冷え込みや、新型コロナウイルス感染症の影響により景気が後退する極めて厳しい状況となりました。

国内農業の状況は、少子高齢化による食料消費の減少や農家の後継者不足等の従前からの課題に加え、初夏の日照不足や大型台風の襲来による農作物への被害、また暖冬により青果物が供給増加となったものの、コロナ禍による訪日客や外食の減少により業務・加工用需要が減少するなど、供給・需要両面の影響で青果安となり、同じくコロナ禍の影響で外国人労働者の来日が困難となったことから大型農家を中心に労働力不足となるなど、農家経営を圧迫する状況となりました。

このような状況のなか当社グループの業績は、種苗事業が低調に推移したことなどから、売上高581億79百万円で前年同期比4億12百万円（0.7%）の減収となりました。利益面でも、営業利益14億87百万円で前年同期比2億98百万円（16.7%）減、経常利益16億13百万円で前年同期比2億85百万円（15.0%）減、親会社株主に帰属する当期純利益11億22百万円で前年同期比1億61百万円（12.6%）減となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

種苗事業

種苗事業においては、牧草関係で地道な普及活動による飼料用作物種子、ラグビーワールドカップの影響によるスポーツターフ用芝種子がそれぞれ販売増となり、野菜種子関係でカボチャ種子の輸出が伸長したものの、コロナ禍の影響で輸出先国の物流が滞ったことなどからキャベツ種子の輸出が停滞、ニンジン種子は輸出・国内販売ともに低迷し、売上高79億95百万円で前年同期比2.7%減収となりました。利益面でも、減収になったことに加え、種子生産委託先である新興国の人件費上昇にスライドして種子の生産コストが上昇したことや、需要者からの高品質種子志向に対応し種子の選抜廃棄を行ったことなどにより費用が増加し、セグメント利益8億63百万円で前年同期比23.0%減となりました。

花き事業

花き事業においては、年度終了間際にはコロナ禍の外出自粛時でも自宅で楽しめる家庭菜園需要が伸長したものの、全般的には家庭園芸用品の需要低迷や主要販売先の売上不振も重ったことなどから、売上高84億55百万円で前年同期比2.1%減収となりました。利益面では、業務の効率化に努めたことなどから、セグメント利益59百万円で前年同期比351.8%増となりました。

農材事業

農材事業においては、青果安に伴い農家のコスト削減意識の高まりが農薬散布機会の減少につながり、土壌消毒剤の販売が減少したものの、除草作業の軽減に効果的な茎葉除草剤が、高齢化や省力化志向に伴い販売が増加、また、オリジナル被覆肥料の普及による販売増などにより、売上高270億72百万円で前年同期比微増収となり、利益面でも、セグメント利益9億11百万円で前年同期比0.7%増となりました。

施設材事業

施設材事業においては、農業用施設に対する台風復旧需要により関東地区で販売が増加したものの、前期東海地区で発生した台風復旧需要の反動減、また夏の天候不順による遮光・灌水資材、暖冬による保温資材がそれぞれ販売減となったことに加えて、青果安に伴う農家の設備投資意欲の減退から養液栽培プラント関係が受注減となりました。その結果、売上高146億56百万円で前年同期比0.1%減収となり、利益面でも、セグメント利益4億38百万円で前年同期比3.4%減となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末における「資産の部」の残高は、467億92百万円となり、前連結会計年度末と比較して12億66百万円増加いたしました。これは主に決算期末日が金融機関の休日となったため、決算期末日満期手形の決済や売掛金の回収が次年度にずれ込んだことにより、受取手形及び売掛金が増加したことによるものであります。

また、「負債の部」の残高は、263億91百万円となり、前連結会計年度末と比較して4億83百万円増加いたしました。これは「資産の部」と同様、決算期末日が金融機関の休日となったため、決算期末日満期手形の決済が次年度にずれ込んだことにより、支払手形が増加したことによるものであります。

「純資産の部」の残高は、204億1百万円となり、前連結会計年度末と比較して7億82百万円増加いたしました。これは主に利益計上に伴うものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度と比較して1億62百万円減少し、44億11百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は、5億89百万円（前年同期比33.9%減）となりました。

これは主に、売上債権が10億95百万円増加したものの、税金等調整前当期純利益16億24百万円を計上したことなどにより資金を獲得したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、2億64百万円（前年同期比69.5%減）となりました。

これは主に、有形固定資産の取得に3億66百万円を支出したものの、有形固定資産の売却による収入で1億37百万円の資金を獲得したことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、4億88百万円（前年同期比34.7%増）となりました。

これは主に、配当金の支払や自己株式の取得によるものであります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2016年5月期	2017年5月期	2018年5月期	2019年5月期	2020年5月期
自己資本比率 (%)	37.5	40.8	41.6	43.1	43.6
時価ベースの自己資本比率 (%)	35.7	39.1	42.1	34.8	35.7
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (年)	0.4	0.0	0.1	0.1	0.2
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	104.7	101.9	117.7	71.3	46.5

(注) 1. 各指標は、下記の基準で算出しております。

(1) 自己資本比率＝自己資本÷総資産

(2) 時価ベースの自己資本比率＝株式時価総額÷総資産

(3) キャッシュ・フロー対有利子負債比率＝有利子負債÷キャッシュ・フロー

(4) インタレスト・カバレッジ・レシオ＝キャッシュ・フロー÷利払い

2. いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

3. 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

4. キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しております。

5. 有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち、利子を支払っている全ての負債を対象としております。

6. 利払いは、連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

（4） 今後の見通し

次期（2021年5月期）の見通しにつきましては、コロナ禍の影響による国内農家の作付減少や輸出の滞りなどの懸念材料はあるものの、種苗事業で、キャベツ種子の輸出回復やカボチャ種子の国内販売の増加を見込んでおります。また、施設材事業で、前期からの台風復旧需要が継続することや、前期低迷した遮光・灌水資材及び保温資材の需要回復による販売増、加えて、農材事業もシェアアップによる堅調な推移を見込んでおります。

これらにより、売上高595億円で前年同期比増収、利益面においても、営業利益15億50百万円、経常利益16億50百万円、親会社株主に帰属する当期純利益11億50百万円と増益を見込んでおります。

また、上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループの利害関係者の多くは、国内の株主、債権者、取引先等であり、海外からの資金調達必要性が乏しいため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年5月31日)	当連結会計年度 (2020年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,906,928	4,744,528
受取手形及び売掛金	21,731,978	22,835,109
商品	8,203,837	8,464,509
その他	1,501,244	1,463,318
貸倒引当金	△22,075	△23,063
流動資産合計	36,321,912	37,484,403
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,092,015	2,011,810
土地	3,953,976	4,210,675
その他（純額）	385,649	266,289
有形固定資産合計	6,431,641	6,488,776
無形固定資産	81,771	96,119
投資その他の資産		
投資有価証券	1,902,856	1,981,177
繰延税金資産	372,357	323,309
その他	424,688	441,919
貸倒引当金	△8,911	△23,087
投資その他の資産合計	2,690,990	2,723,319
固定資産合計	9,204,403	9,308,215
資産合計	45,526,315	46,792,619

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年5月31日)	当連結会計年度 (2020年5月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	22,593,327	22,903,100
未払法人税等	309,674	234,102
その他	1,279,621	1,511,088
流動負債合計	24,182,623	24,648,291
固定負債		
退職給付に係る負債	1,401,062	1,403,591
役員株式給付引当金	—	16,192
役員退職慰労引当金	113,650	—
その他	209,907	323,016
固定負債合計	1,724,619	1,742,801
負債合計	25,907,242	26,391,092
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,491,267	1,491,267
資本剰余金	1,765,224	1,765,224
利益剰余金	15,810,824	16,604,614
自己株式	△24,318	△129,522
株主資本合計	19,042,997	19,731,583
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	693,164	739,804
為替換算調整勘定	△46,304	△41,850
退職給付に係る調整累計額	△70,948	△28,188
その他の包括利益累計額合計	575,911	669,765
非支配株主持分	163	177
純資産合計	19,619,072	20,401,526
負債純資産合計	45,526,315	46,792,619

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年6月1日 至 2019年5月31日)	当連結会計年度 (自 2019年6月1日 至 2020年5月31日)
売上高	58,592,669	58,179,890
売上原価	49,215,496	49,047,518
売上総利益	9,377,173	9,132,372
販売費及び一般管理費	7,591,465	7,644,901
営業利益	1,785,707	1,487,470
営業外収益		
受取利息	2,681	3,626
受取配当金	32,105	34,198
受取家賃	62,988	67,269
その他	35,446	38,210
営業外収益合計	133,221	143,304
営業外費用		
支払利息	12,629	12,777
為替差損	6,783	4,638
その他	414	61
営業外費用合計	19,828	17,477
経常利益	1,899,100	1,613,297
特別利益		
固定資産売却益	—	42,411
投資有価証券売却益	9,821	774
特別利益合計	9,821	43,185
特別損失		
固定資産処分損	57,760	31,762
減損損失	5,426	—
特別損失合計	63,187	31,762
税金等調整前当期純利益	1,845,734	1,624,721
法人税、住民税及び事業税	587,184	492,236
法人税等調整額	△25,668	9,982
法人税等合計	561,516	502,218
当期純利益	1,284,218	1,122,502
非支配株主に帰属する当期純利益	2	13
親会社株主に帰属する当期純利益	1,284,215	1,122,488

(連結包括利益計算書)

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 2018年6月1日 至 2019年5月31日)	当連結会計年度 (自 2019年6月1日 至 2020年5月31日)
当期純利益	1,284,218	1,122,502
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△163,955	46,639
為替換算調整勘定	6,608	4,454
退職給付に係る調整額	75,601	42,760
その他の包括利益合計	△81,745	93,853
包括利益	1,202,472	1,216,356
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	1,202,466	1,216,337
非支配株主に係る包括利益	5	18

（3）連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度（自 2018年6月1日 至 2019年5月31日）

（単位：千円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,491,267	1,765,221	14,831,844	△23,044	18,065,288
当期変動額					
剰余金の配当			△305,235		△305,235
親会社株主に帰属する当期純利益			1,284,215		1,284,215
自己株式の処分		43		50	93
自己株式の取得				△1,324	△1,324
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動		△40			△40
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					—
当期変動額合計	—	2	978,980	△1,274	977,708
当期末残高	1,491,267	1,765,224	15,810,824	△24,318	19,042,997

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利 益累計額合計		
当期首残高	857,119	△52,912	△146,549	657,657	—	18,722,946
当期変動額						
剰余金の配当				—	—	△305,235
親会社株主に帰属する当期純利益				—	—	1,284,215
自己株式の処分				—	—	93
自己株式の取得				—	—	△1,324
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動				—	—	△40
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	△163,955	6,608	75,601	△81,745	163	△81,582
当期変動額合計	△163,955	6,608	75,601	△81,745	163	896,126
当期末残高	693,164	△46,304	△70,948	575,911	163	19,619,072

当連結会計年度(自 2019年6月1日 至 2020年5月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,491,267	1,765,224	15,810,824	△24,318	19,042,997
当期変動額					
剰余金の配当			△328,698		△328,698
親会社株主に帰属する当期純利益			1,122,488		1,122,488
自己株式の処分					—
自己株式の取得				△105,203	△105,203
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動					—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					—
当期変動額合計	—	—	793,790	△105,203	688,586
当期末残高	1,491,267	1,765,224	16,604,614	△129,522	19,731,583

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利 益累計額合計		
当期首残高	693,164	△46,304	△70,948	575,911	163	19,619,072
当期変動額						
剰余金の配当				—	—	△328,698
親会社株主に帰属する当期純利益				—	—	1,122,488
自己株式の処分				—	—	—
自己株式の取得				—	—	△105,203
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動				—	—	—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	46,639	4,454	42,760	93,853	13	93,867
当期変動額合計	46,639	4,454	42,760	93,853	13	782,454
当期末残高	739,804	△41,850	△28,188	669,765	177	20,401,526

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 2018年6月1日 至 2019年5月31日)	当連結会計年度 (自 2019年6月1日 至 2020年5月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	1,845,734	1,624,721
減価償却費	287,907	239,162
減損損失	5,426	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	1,614	15,162
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	43,726	63,703
役員株式給付引当金の増減額(△は減少)	—	16,192
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△7,225	△113,650
受取利息及び受取配当金	△34,786	△37,824
支払利息	12,629	12,777
投資有価証券売却損益(△は益)	△9,821	△774
有形固定資産除売却損益(△は益)	57,760	△10,649
売上債権の増減額(△は増加)	706,369	△1,095,542
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,025,467	△267,124
仕入債務の増減額(△は減少)	△546,578	361,391
未払消費税等の増減額(△は減少)	49,835	197,905
その他	59,354	100,359
小計	1,446,480	1,105,813
利息及び配当金の受取額	34,786	37,824
利息の支払額	△12,515	△12,670
法人税等の支払額	△576,303	△553,237
その他の収入	—	11,761
営業活動によるキャッシュ・フロー	892,447	589,490
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△673,106	△366,921
有形固定資産の売却による収入	—	137,894
有形固定資産の除却による支出	△33,019	—
無形固定資産の取得による支出	△10,600	△19,400
投資有価証券の取得による支出	△207,385	△11,499
投資有価証券の売却による収入	50,379	1,060
その他	4,426	△6,087
投資活動によるキャッシュ・フロー	△869,305	△264,954
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	3,100,000	2,960,000
短期借入金の返済による支出	△3,101,552	△2,960,000
配当金の支払額	△314,995	△328,053
自己株式の取得による支出	△1,324	△105,203
その他	△45,042	△55,436
財務活動によるキャッシュ・フロー	△362,915	△488,692
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,077	1,756
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△337,696	△162,400
現金及び現金同等物の期首残高	4,911,125	4,573,428
現金及び現金同等物の期末残高	4,573,428	4,411,028

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(取締役を対象とした株式給付信託の導入)

当社は、2019年8月27日開催の第72回定時株主総会決議に基づき、当社の取締役（社外取締役を除く。以下、同じ。）に対する株式報酬制度「株式給付信託（BBT（＝Board Benefit Trust））」（以下、「本制度」といいます。）を導入しております。

本制度は、取締役の報酬と当社の株式価値との連動性をより明確にすることで、中長期的な企業価値の増大に貢献する意識を高めることを目的としております。

本制度に係る会計処理については、「従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第30号 2015年3月26日）に準じております。

(1) 取引の概要

本制度は、当社が拠出する金銭を原資として当社株式が信託（以下、本制度に基づき設定される信託を「本信託」といいます。）を通じて取得され、取締役に対して当社が定める役員株式給付規程にしたがって、当社株式及び当社株式を時価で換算した金額相当の金銭（以下、「当社株式等」といいます。）が本信託を通じて給付される株式報酬制度です。なお、取締役が当社株式等の給付を受ける時期は、原則として取締役の退任時となります。

(2) 信託に残存する自社の株式

当社は、本信託に残存する当社株式を、信託における帳簿価額（付随費用の金額を除く。）により、純資産の部に自己株式として計上しております。当連結会計年度末の当該自己株式の帳簿価額は104,799千円、株式数は72,400株であります。

(セグメント情報等)

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、商品・サービス別セグメントから構成されており、「種苗事業」（野菜種子、牧草種子、ウイルスフリー苗及び種イモ、造園・法面工事の請負施工）、「花き事業」（花苗、家庭菜園向け野菜苗、家庭園芸用資材）、「農材事業」（農薬、被覆肥料）、及び「施設材事業」（農業資材、温室・養液栽培プラントの設計・施工）の4つを報告セグメントとしております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用される会計方針に準拠した方法であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

なお、報告セグメントに直接配分できない本社及び支店の償却資産等は、各報告セグメントに配分しておりません。一方、それら資産の減価償却費については、合理的な基準に従い、対応する各報告セグメントに配分してあります。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度（自 2018年6月1日 至 2019年5月31日）

(単位:千円)

	種苗事業	花き事業	農材事業	施設材事業	合計
売上高					
外部顧客への売上高	8,219,860	8,634,798	27,064,167	14,673,843	58,592,669
セグメント間の内部売上高又は振替高	78,001	1,547	58	3,416	83,023
計	8,297,861	8,636,345	27,064,226	14,677,259	58,675,693
セグメント利益	1,121,818	13,194	905,460	453,309	2,493,782
セグメント資産	8,223,068	3,586,954	15,649,578	5,926,390	33,385,991
その他の項目					
減価償却費	153,050	27,556	49,136	43,876	273,619
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	154,300	6,215	13,649	4,115	178,280

当連結会計年度（自 2019年6月1日 至 2020年5月31日）

(単位:千円)

	種苗事業	花き事業	農材事業	施設材事業	合計
売上高					
外部顧客への売上高	7,995,016	8,455,386	27,072,650	14,656,836	58,179,890
セグメント間の内部売上高又は振替高	83,775	1,304	36	1,499	86,614
計	8,078,792	8,456,690	27,072,686	14,658,335	58,266,504
セグメント利益	863,608	59,614	911,491	438,099	2,272,813
セグメント資産	8,519,469	3,820,296	15,997,242	6,359,431	34,696,438
その他の項目					
減価償却費	143,033	21,665	30,371	28,078	223,149
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	316,387	40,332	238	3,669	360,627

4. 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

売上高	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	58,675,693	58,266,504
セグメント間取引消去	△83,023	△86,614
連結財務諸表の売上高	58,592,669	58,179,890

(単位:千円)

利益	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	2,493,782	2,272,813
全社費用(注)	△708,075	△785,342
連結財務諸表の営業利益	1,785,707	1,487,470

(注) 全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であり、主に本社管理部門に係る費用であります。

(単位:千円)

資産	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	33,385,991	34,696,438
全社資産(注)	12,140,323	12,096,180
連結財務諸表の資産合計	45,526,315	46,792,619

(注) 全社資産は、報告セグメントに帰属しない資産であり、主に現金及び預金、本社及び支店の土地・建物であります。

(単位:千円)

その他の項目	報告セグメント計		調整額		連結財務諸表計上額	
	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度
減価償却費	273,619	223,149	14,288	16,013	287,907	239,162
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	178,280	360,627	568,697	84,270	746,977	444,897

(注) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない本社及び支店における増加額であります。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2018年6月1日 至 2019年5月31日)	当連結会計年度 (自 2019年6月1日 至 2020年5月31日)
1株当たり純資産額	1,671.22円	1,748.70円
1株当たり当期純利益	109.39円	95.95円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2018年6月1日 至 2019年5月31日)	当連結会計年度 (自 2019年6月1日 至 2020年5月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益 (千円)	1,284,215	1,122,488
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期 純利益(千円)	1,284,215	1,122,488
普通株式の期中平均株式数(千株)	11,739	11,698

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. その他

役員の変動

① 代表取締役の変動

該当事項はありません。

② その他の役員の変動

・新任監査役候補

(非常勤) 監査役 高井 研一 (元 群馬銀行 専務取締役、元 一般財団法人 群馬経済研究所理事長)

(注) 高井 研一は、社外監査役の候補者であります。

③ 就任予定日

2020年8月27日